1頁 令和 3年 8月23日 10時20分58秒

令和 2年度 評価年度 進捗区分 2次評価 0001282020 ごみゼロ推進課ごみ減量係 所属 環境保全協働推進事業 事務事業 02748

所属長名 原田 浩至 担当者 尾崎 弓貴 電話番号 0566 76-3053

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	001 3環境				
施策の方針	004 資源循環とごみ	減量の推進			
事務事業	001 環境保全協働推	進事業			
事業期間	平成 8年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関	する法律、安城市廃	蓬棄物の減量及び適正処理に	関する条例	
備考					

【事業分析】

▲ ず未刀 川 』	
対象	多くの市民が
目的	ごみ減量に関心を持ち、ごみ減量を協働で行えるようになります。
手段	市民、事業者、行政との協働によるごみ減量、資源循環型社会の推進を図るため、ごみ減量推進委員会を開催し、ごみ減量施策の調査、検討、構築を行うとともに市民活動を促進するため市民活動支援プログラムの運用、説明会等による啓発活動を実施します。ごみの再資源化を促進するため集団資源回収に対する報償金事業を実施します。
事務内容	ごみ減量推進委員会の設置、運用を行います。 住民説明会を開催し、周知をはかります。 集団資源回収報償金を支払います。

【コス	-]			(単位:千円)
		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	'ルコスト	28,936	23,434	34,070
事	業費	25,786	20,914	30,770
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	25,786	20,914	30,770
人	件費計	3,150	2,520	3,300
	正規(人)	0.50	0.40	0.50
その他	2経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	住民説明会等によるご み減量、分別の啓発、 市民活動支援プログラ ムによる活動	市民活動支援プログラ ムによる活動	住民説明会等によるご み減量、分別の啓発、 市民活動支援プログラ ムによる活動

2頁 令和 3年 8月23日 10時20分58秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価 所属 0001282020 ごみゼロ推進課ごみ減量係 事務事業 02748 環境保全協働推進事業

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
住民説明会の参加人数	1	1,800.00	1,800.00	450.00
	^	1,532.00	0.00	0.00
市民活動支援プログラムによる活動		40.00	40.00	20.00
ムによる位割		30.00	13.00	0.00

<u>【定性評価】</u> カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
が要性 1	国・県・民間等との補完性	型 : 県・民間等がサービスを行っていない	1
理由 必要性	他の事業主体が実施するも 市民ニーズの有無	のはありません。	1
理由有効性	資源循環を目指し、団体に 目標に対する進捗状況 コロナ禍の影響により開催	よる資源回収活動を支援しています。	2
理由 効率性 4 理由	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
公平性	企業独自の資源回収を含め 事業規模・サービス水 準	日 保 に 劣め こいま 9。 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由 【1次評価結果】	多彩な支援プログラムを用	意しています。	

事業の方向性	維持・継続
	コロナ禍の影響により、住民説明会は中止としました。
	今後も個人の環境に対する意識を高められるように、今までの啓発活動を見直すとともに新たな啓発活動を実施
	できるよう検討、実施に努めます。
1 次コメント	
(400文字)	

【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

3頁 令和 3年 8月23日 10時20分58秒

令和 2年度 評価年度 進捗区分 2次評価 0001282020 ごみゼロ推進課ごみ減量係 所属 事務事業 ごみ減量化推進事業 02749

所属長名 原田 浩至 担当者 村中 佑伍 電話番号 0566 76-3053

•	#	-	! =	土口	•
L	尽	本	盲	邓	1

計画次数	02 第8	次安城市総合	合計画			
5 Kの分類	002 環境	Ē				
項目(施策)	001 3 環	境				
施策の方針	004 資源	種環とごみ	咸量の推進			
事務事業	002 ごみ	減量化推進	事業			
事業期間	平成元年度 ~					
実施方法	直営					
会計区分	一般会計		事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業			マニフェスト		地方創生	
根拠法令等						
備考						

【事業分析】

【争美分析】	
対象	啓発を受けた市民・子ども達が広く
目的	ごみ減量を始めとした環境保全に対して関心をもつようになり、ごみ排出量が削減されます。
手段	環境学習をする小学4年生を対象に、施設見学とビデオによるごみ減量の必要性や環境教育のためのクリーンバス事業を実施するとともに、市民向けにはごみの発生抑制や分別の啓発、生ごみ処理機器の購入費用を補助しごみの減量と循環型社会を図る環境保全啓発活動を実施します。
事務内容	市指定ごみ袋の発注作成と生ごみ処理機の購入補助を行います。 住民説明会、クリーンバス事業、広報などによるごみ減量及び環境教育、環境保全の啓発を行います。

【コス	F]			(単位:千円)
		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	7ルコスト	84,484	102,005	145,550
事	業費	81,334	98,225	140,930
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	79,140	85,246	126,237
	一般財源	2,194	12,979	14,693
人	件費計	3,150	3,780	4,620
	正規(人)	0.50	0.60	0.70
その他	2経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	・	・広報等による減量啓 発 ・生ごみ処理機器 の購入補助	・広報等による減量啓発・・住民説明会等による減量啓発・・住民説明会等・よるが減量啓発・生ごみ処理機器の購入補助・・市内小学4年生を対象としたクリーンパスの実施

4頁 10時20分58秒

令和 2年度 評価年度 進捗区分 2次評価 0001282020 ごみゼロ推進課ごみ減量係 所属 ごみ減量化推進事業 事務事業 02749

7 =	T. /TE	•
	邳而	

上段:目標値 下段:実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
住民説明会(街頭、店舗)等によるごみ減量 啓発	回	15.00 12.00	15.00 0.00	8.00 0.00
クリーンバスの実施	参加学校数	21.00 21.00	21.00 0.00	21.00 0.00
乾燥生ごみ交換重量	k g	4,000.00 4,032.00	4,000.00 4,150.00	4,000.00 0.00

理由 他の事業主体が行うものはありません。 少要性 評価の観点 基準 1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている 理由 他の事業主体が行うものはありません。 必要性 市民ニーズの有無 1 市民ニーズは充分にある	^{ランク} 1
必要性 国・県・民間等との補 完性 1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている 理由 他の事業主体が行うものはありません。	1 1
3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている 理由 他の事業主体が行うものはありません。	1
	1
必要性 市民ニーズの有無 1 市民ニーズは充分にある	1
2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	
理由 市民のごみ減量に対する意識は維持されています。	
有効性 目標に対する進捗状況 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	2
理由 コロナ禍の影響により開催中止等ありました。	
効率性	2
理由 効率が良くなるよう補助等を見直します。	
公平性 事業規模・サービス水 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由 引き続き減量化の啓発を行っています。	·

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	コロナ禍の影響により、住民説明会やクリーンバスは中止としました。
	ごみ減量化については更なる市民協働の充実に努めるとともに、新たな事業展開を検討していきます。
1 次コメント	
(400文字)	
1	

【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

5 頁 令和 3年 8月23日 10時20分58秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価 所属 0001282020 ごみゼロ推進課ごみ減量係 事務事業 02750 地域環境美化事業 所属長名原田浩至担当者尾崎弓貴電話番号056676-3053

【基本情報】

【空中月刊】						
計画次数	02 第8次安城市総	合計画				
5 Kの分類	002 環境					
項目(施策)	001 3環境					
施策の方針	005 環境学習及び環	境配慮行動の促進と				
事務事業	003 地域環境美化事	 業				
事業期間	平成元年度 ~					
実施方法	直営					
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目		
健幸事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生		
根拠法令等	安城市ポイ捨て及びふん害	の防止に関する条例	i)			
備考						

【事業分析】

対象	広く市民が
目的	地域環境の美化のため自主的に清掃活動に参加するようになります。
手段	地域環境美化のため、アダプトプログラム制度の推進や地域クリーン推進員の養成を通じ、環境美化活動の啓発 支援を行います。
事務内容	町内一斉清掃、アダプトプログラム、530運動の活動支援を行います。

【コスト】 (単位:千円)

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トーク	'ルコスト	5,953	5,564	7,417
事	業費	2,803	1,784	3,457
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,803	1,784	3,457
人	件費計	3,150	3,780	3,960
	正規(人)	0.50	0.60	0.60
その他	!経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	町内一斉清掃、 530 車動な夢集及び啓発、 地域クリー会の開催、 でががあるの開催、 地域が優全の開催、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	町内一斉清掃、アダプ トプログラム、530 運動などボランティア 活動の募集及び啓発	町内一斉清掃、アダプトプログラム、530 運動などボランティア活動の募集及び啓発、地域クリーン推進員の 養成研修会の開催、ポイ捨て等防止啓発キャンペーンの実施

事務事業評価シート(2/2) 🔩 🚓 3年 8月23日

6頁 10時20分58秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価 0001282020 ごみゼロ推進課ごみ減量係 所属 事務事業 02750 地域環境美化事業

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
アダプト団体登録数	団体数	56.00 55.00	55.00 64.00	64.00 0.00
「町を美しくする運動」 」活動実施数		200.00 203.00	200.00 93.00	100.00 0.00

【定性評価】			
カテゴリ		基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
	元性	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	1
1		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
`			
理由	他の事業主体が行うものし	<u>はありません。</u>	
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	4
2		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	環境美化のための活動を領	各団体が積極的に行っています。	
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	1
3		3 進捗はかなり遅れている	
3			
理由	コロナ禍の影響により開係		
効率性	事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
	の削減	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	1
4		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
7			
理由	効率的な事業展開を図る/	- め検討します。	
公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
	準	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	1
5		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	きめ細かい対応を実施して	ています。 	
F 4 >6-55/T/-5 TT 1			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	コロナ禍の影響により、清掃活動の回数は減少しています。
	現事業の内容、関連性を精査しつつ、事業の統廃合を含め、効率的な事業展開を検討していきます。
1 次コメント	
(400文字)	

【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

1頁 令和 3年 8月17日 14時21分41秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価 所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事

所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係 事務事業 02751 塵芥収集事業 所属長名原田 浩至担当者杉本 浩基電話番号0566-76-3053

【基本情報】

▲ 全年					
計画次数	02 第 8 次安城市	5総合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	001 3 環境				
施策の方針	004 資源循環と	ごみ減量の推進			
事務事業	003 塵芥収集事業	Ě			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃	に関する法律、安城市原	廃棄物の減量と適正処理	!に関する条例	
備考					

【事業分析】

▲事業分別】	
対象	市民が
目的	ごみを分別して出すことができるようになります。
手段	びん缶、ペットボトル等の収集を直営業務とし、可燃・不燃・容器包装プラごみ及び古紙古着の収集を委託業務としています。
事務内容	日常生活から出るごみ(可燃・不燃・容器包装プラごみ・資源ごみ)を収集しています。

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	623,337	635,990	679,479
事業費	484,737	497,390	532,299
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	10,335	7,406	4,652
一般財源	474,402	489,984	527,647
人件費計	138,600	138,600	147,180
正規(人)	22.00	22.00	22.30
その他経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	可燃ごみ29,668t、不	可燃ごみ29,680t、不	可燃ごみ29,700t、不
	燃ごみ956t、容器包装	燃ごみ1,064t、容器包	燃ごみ1,060t、容器包
	プラごみ1,203t、缶36	装プラごみ1,257t、缶	装プラごみ1,250t、缶
	0t、びん1,053t、古紙	355t、びん1,174t、古	355t、びん1,100t、古
	・古着1,051tを取集し	紙・古着897tを取集し	紙・古着950tを取集し
	ます。	ます。	ます。

事務事業評価シート(2/2) *** 3年 8月17日

2頁 14時21分41秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価 所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係

事務事業 02751 塵芥収集事業

上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】 指標名 容器包装プラスチック こみの資源化率 単位 平成31年度 令和 2年度 令和 3年度 95.00 95.00 95.00 % 97.17 99.04 0.00

【定性評価】	<u>'</u>		
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
	7012	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	1
1		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
<u> </u> 理由	 廃掃法に規定された市の		
	市民ニーズの有無	見がを履うしてより。 1 市民ニーズは充分にある	
	700 13	2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	4
		3 市民ニーズはない又は不明である	1
2		3 1150 Mississipping	
理由		処分を求める意向が認められます。	
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	_
		2 目標を下回る進捗状況である	1
3		3 進捗はかなり遅れている	
			•
理由	目標を上回る成果を上げ		
効率性	事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
	の削減	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
4		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
·			
<u> </u> 理由	かをルーウはも17年は生	_	
	事業規模・サービス水	の比論を支付3年度に実施しより。 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
	準	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	4
_		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5		THE SECOND COMMENTS OF	
	ごみ減量20%以降、先取り)先進的な取り組みを行っています。	
事業の方向性	 維持・継続		
事業の月間は		去令に基づき、市にあるため、合理化かつ効率化を念頭に着実に遂行します。	
	,32,355K 13 55 72 12 5 12 15 1	2 (122 - 2 ()) 123 - 223 () 2213 () 23 ()	
1次コメント			
(400文字)			
事業の方向性	評価未実施		
_	本事業においては、2次記	評価を実施していません。	
225-12-1			
2次コメント			
(400文字)			

3頁 令和 3年 8月17日 14時21分41秒

令和 2年度 評価年度 進捗区分 2次評価 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係 所属

不法投棄対策事業

所属長名 原田 浩至 担当者 杉浦 一美 電話番号 0566-76-3053

事務事業 02752	不法投棄対策事業		電話番号	0566-76-3053	
【基本情報】					
計画次数	02 第8次安城市総	総合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	001 3 環境				
施策の方針	004 資源循環とごみ	タ減量の推進			
事務事業	004 不法投棄対策	事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関	引する法律、安城市	「廃棄物の減量と適正処理に関	関する条例	
 備考					
C this					

【事業分析】

1 争未刀们 1	
対象	不法投棄された場所の近隣住民が
目的	不法投棄ごみのない快適な環境で生活できる。
手段	町内会への不法投棄防止用監視カメラの貸与事業、不法投棄パトロール業務及び不法投棄物の処分業務を実施し ます。
事務内容	監視カメラを設置して不法投棄の抑制を図るとともに、不法投棄され処理に困っている特定家電5品目、消火器 及び自動車のタイヤ等を処理します。

(単位:千円) 【コスト】

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	7,740	5,870	6,449
事業費	6,480	4,610	5,129
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	1,029
一般財源	6,480	4,610	4,100
人件費計	1,260	1,260	1,320
正規(人)	0.20	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	監視力メラ21台を4ヶ 月単位で設置を希望す る町内会に貸出しを行 います。不法投棄監視 パトロールの実施によ る事案抑制に努めます 。	監視カメラ18台を6ヶ 月単位で設置を希望す る町内会に貸出しを行 います。不法投棄監視 パトロールの実施によ る事案抑制に努めます。	監視カメラ16台を6ヶ 月単位で設置を希望す る町内会に貸出しを行 います。不法投棄監視 パトロールの実施によ る事案抑制に努めます。

4頁 令和 3年 8月17日 14時21分41秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価 所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係

事務事業 02752 不法投棄対策事業

上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
家電5品目の不法投棄 台数(指定引取場所搬 入台数)	台	150.00 127.00	150.00 126.00	150.00 0.00

<u>定性評価】</u> カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
	公共用地の管理責任に基づ	I I I バハて行います。	
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
	──── 良好な地域環境の維持と不		
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由	抑止効果が認められますが	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	町内会との連携強化に努め		
公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	先進的な事業と認められま	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

【 1 次評価結果】		
事業の方向性	維持・継続	
	一般廃棄物の処理責任は法令に基づき、市にあるため合理化かつ効率化を念頭に着実に遂行します。	
1次コメント		
(400文字)		

【 <u>2 次評価結果】</u>

E - O'CHI IMMENICA	
事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

5頁 令和 3年 8月17日 14時21分41秒

令和 2年度 評価年度 進捗区分 2 次評価 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係 所属 事務事業 02753 資源再生化事業 (中間処理等事業)

所属長名 原田 浩至 担当者 杉本 浩基 電話番号 0566-76-3053

•	# 4	- 4=	±Π	•
L	基本	小佰	五六	1

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	001 3 環境				
施策の方針	004 資源循環とごみ	減量の推進			
事務事業	005 資源再生化事業	(中間処理等事業)			
事業期間	平成 9年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関	する法律、安城市廃	棄物の減量と適正処理に関す	する条例	
備考					

【事業分析】

▲ デ未刀 1/1 』	
対象	将来の市民が
目的	地球環境破壊や資源枯渇から救われる一助となります。
手段	ペットボトルは拠点回収し資源化センターにおいて、プラスチック製容器包装はごみステーションで収集し安城 プラスチックリサイクルセンターで、それそれ圧縮減容化処理します。これら中間処理したものは、資源リサイ クル事業者により再生化しています。
事務内容	回収されたペットボトルや容器包装プラごみの資源化を行います。

【コス	 -			(単位:千円)
平		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		99,778	103,957	102,324
事	業費	97,258	101,437	100,344
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	5,322	9,650	9,601
	一般財源	91,936	91,787	90,743
人	件費計	2,520	2,520	1,980
	正規(人)	0.40	0.40	0.30
7.04	L/V 連			
その他	业砼 算	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	ペットボトル419t、容	ペットボトル450t、容	ペットボトル450t、容
	器包装プラごみ1,203t	器包装プラごみ1,256t	器包装プラごみ1,250t
	を収集、再生処理をし	を収集、再生処理をし	を収集、再生処理をし
	ます。	ます。	ます。

事務事業評価シート(2/2) 🚓 🥸 3年 8月 17日

6頁 14時21分41秒

令和 2年度 評価年度 進捗区分 2 次評価 所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係 事務事業 02753 【定量評価】 資源再生化事業 (中間処理等事業)

上段:目標值 下段:実績値

【正重評価】				上找,日信他 下找,美糗他	
指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
ペットボトルの選別処 理量	t	488.00 419.00	460.00 450.00	450.00 0.00	
容器包装プラスチック の圧縮梱包処理量	t	1,231.00 1,203.00	1,200.00 1,256.00	1,250.00 0.00	
【定性評価】	【定性評価】				
カテブロ	証価の組占			ランク	

[]	2性評価】			
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
		 廃掃法、リサイクル法に規	」 ┃ 定された市の責務を履行します。	
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
	理由	資源ごみを手軽に低廉に処		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	2
		コロナ下でペットボトル、		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
		資源の売却先など、経済性		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	同種事業の実施団体との情		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	コロナ下のステイホームでペットボトル、容器包装プラスチック共に収集量は増加しています。今後も、持続可能な循環型社会の構築に資源再生の取り組みは欠かせないものと認識します。ただし経済性、効率性、省エネルギー化の観点と整合を図る必要があります。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

評価未実施
本事業においては、2次評価を実施していません。

7頁 令和 3年 8月17日 14時21分41秒

令和 2年度 評価年度 進捗区分 2 次評価 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係 所属 事務事業 02754 リサイクルプラザ施設管理事業

所属長名 原田 浩至 担当者 杉本 浩基 電話番号 0566-76-3053

	ᆂ.	_	4	+17	•
[]	₽.	巫	恬	報	1

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	001 3 環境				
施策の方針	004 資源循環とごみ	減量の推進			
事務事業	006 リサイクルプラ	ザ施設管理事業			
事業期間	平成10年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関	する法律、安城市廃	棄物の減量と適正処理に関	する条例	
備考					

【事業分析】

▲尹未刀勿◢	
対象	市民が
目的	ごみを適正に処理することができます。
手段	不燃ごみ、粗大ごみの破砕処理を行うとともに、資源物を抽出し再生、再利用を図り資源循環型社会形成に寄与 します。
事務内容	市民が排出又は持ち込んだごみを受け入れ、適正に処理できるように施設を維持管理・運営します。

【コス	L]			(単位:千円)
		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	7ルコスト	435,828	406,349	413,091
事	業費	413,778	384,299	397,251
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	35,399	21,355	19,272
	一般財源	378,379	362,944	377,979
人	件費計	22,050	22,050	15,840
	正規(人)	3.50	3.50	2.40
その他	2経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	不燃粗大ごみ3,666t	不燃粗大ごみ4,037t	不燃粗大ごみ4,100t
	びん・缶1,413 t を破	びん・缶1,571tを破	びん・缶1,600 t を破
	砕・減容、分別し中間	砕・減容、分別し中間	砕・減容、分別し中間
	処理を行います。	処理を行います。	処理を行います。

8頁 14時21分41秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価 所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係 事務事業 02754 リサイクルプラザ施設管理事業

上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】

【定量評価							標値 下段:実績値
	指標名	単位	3	平成31年度	令和 2年度	令	和 3年度
苦情件数		件		0.00 0.00	0.0	1	0.00 0.00
【定性評価	1						
E AC I THI IM	カテゴリ	評価の観点			基準		ランク
必要性 1		国・県・民間等との補 完性		国・県・民間等のサ-	- ビスを行っていない - ビスは不十分で、市で補完 [:] ^ま のサービスを行っている	する必要がある	1
<u>理由</u> 必要性		廃清法、リサイクル法に共 また。 ずの左無					
少安性		市民ニーズの有無		市民ニーズは充分にな 社会情勢の変化等に。 市民ニーズはない又に	より市民ニーズは低下している	ర్	1
理由		 資源ごみを手軽に、低廉に	一一の公たる	L せめる音向が訒めこわ			
有効性		員源にかを手軽に、低廉に 目標に対する進捗状況	1 2		票 <u>どおりの進捗である</u> 兄である		1
理由		 苦情は受けていません。					
効率性		事業の効率化・事業費の削減		事業手法の検討や事系	8改善に取り組み、具体的な/ 8改善に取り組んでいる 8改善にあまり取り組めてい		2
理由		- 合理性、経済性に留意して	 つつ 誤(▲ 最老朽化対策に怒めて	 l.\ます		
公平性		国建位、武万位に留 <u>念り</u> 業業規模・サービス水 準	1	環境変化や他自治体等 環境変化や他自治体等	いなり。 等と比較して適正である。 等と比較してあまり適正でない。 等と比較して適正でない。	, 1,	1
理由		市民の搬入量に比べ、処理	上 里能力に	」 大きな過不足は認めら	れません。		
【1次評価		TO LL TOLES					
事業の方向 1次コメン (400文	, F	維持・継続 持続可能な循環型社会の様 ただし経済性、効率性、省			取り組みは欠かせないものと 図る必要があります。	認識します。	
【2次評価							
事業の方向]性	評価未実施					
2 次コメン (4 0 0 文	, F	本事業においては、2次部	半価を実施	もしていません 。			

9頁 令和 3年 8月17日 14時21分41秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価 所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係 事務事業 02755 せん定枝リサイクルプラント事業

所属長名原田 浩至担当者杉浦 一美電話番号0566-76-3053

	ᆂ.	_	4	+17	•
[]	₽.	巫	恬	報	1

計画次数	02 第8次安城市約				
5 K の分類	002 環境				
項目(施策)	001 3 環境				
施策の方針	004 資源循環とごみ	⊁減量の推進			
事務事業	007 せん定枝リサイ	(クルプラント事業			
事業和問	亚芹42年度		1		
事業期間	平成13年度 ~				
実施方法	全部委託			T.	
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関	する法律、安城市原	発棄物の減量と適正処理に関	<u>.</u> する条例	•
備考					
5					
	1				

【事業分析】

【 学来刀 1/1 】	
対象	農業経営を行う市民や園芸を楽しむ市民が
目的	たい肥を利用した農業・園芸を行うことができるようになります。
手段	市民が搬入したせん定枝を粉砕し、醗酵たい肥化を行います。
事務内容	剪定した枝葉をごみとして焼却するのではなく、自然還元による資源循環のためたい肥を製造して市民等に配布 します。

【コスト】

 - 			(単位:千円)_
	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	決算額	決算額	予算額
7 ルコスト	84,518	88,593	78,930
業費	64,358	68,433	64,410
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	9,791	10,350	9,600
一般財源	54,567	58,083	54,810
件費計	20,160	20,160	14,520
正規(人)	3.20	3.20	2.20
 	0	0	0
	/ルコスト 業費 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 件費計	平成31年度 決算額 プルコスト 84,518 業費 64,358 国庫支出金 0 地方債 0 その他 9,791 一般財源 54,567 件費計 20,160 正規(人) 3.20	平成31年度 決算額 令和 2年度 決算額 ルコスト 84,518 88,593 業費 64,358 68,433 国庫支出金 0 0 埋方債 0 0 その他 9,791 10,350 一般財源 54,567 58,083 件費計 20,160 20,160 正規(人) 3.20 3.20

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	せん定枝1,185tを処理	せん定枝1,188tを処理	せん定枝1,150tを処理
	、たいI肥836tを配布し	、たいI肥825tを配布し	、たいI肥850tを配布し
	ます。	ます。	ます。

10頁 令和 3年 8月17日 14時21分41秒

上段:目標值 下段:実績値

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価 所属

0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係 事務事業 02755 せん定枝リサイクルプラント事業 【定量評価】

【疋里評測】	K.III.O	22/ /2	亚青0.4左座	△和 ○左座	上段,日标但 下段,夫與他
	指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
剪定枝葉処理			1,500.00	1,150.00	1,150.00
	t		1,185.00	1.188.00	0.00
			1,100100	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
7 字从 壶 / 本 】	<u> </u>	· ·			
【定性評価】					
		評価の観点		基準	ランク
必要性	国・県・	・民間等との補	1 国・県・民間等がサー	- ビスを行っていない	
	完性			- ビスは不十分で、市で補完する!	 以更がある
					<u> </u>
1			3 国・県・民間等が同権	^{集のサービスを行っている}	
理由	± 10 0 F	 民間事業者へ処理委託の)方途があります		
				 	
必要性	巾氏二-		1 市民ニーズは充分にる		
			2 社会情勢の変化等に。	より市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又		
2		 	2 NG-07-7	J. 1. 11 C D D	
1		<u> </u>			
理由	たい肥の	の配布希望者が多く、常	に抽選を要する状況です	0	
有効性		1 34-14-1153-		 票どおりの進捗である	
[5%] <u>T</u>		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
			2 目標を下回る進捗状況		1
3			3 進捗はかなり遅れてい	.1る	
٦					
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
理由		とい肥の製造ができまし			
効率性		加率化・事業費	1 事業手法の検討や事務	<u> 8改善に取り組み、具体的な成果</u> を	<u>を上げている</u>
	の削減		2 事業手法の検討や事務	務改善に取り組んでいる	
				務改善にあまり取り組めていない	
4		<u> </u>		が以当にのよう状う流のでいない	
		_			
理由	合理性、	経済性に留意しつつ、	設備の適正運用に努めて	います。	
公平性		莫・サービス水			
	準			等と比較してあまり適正でない。	
	i i				——— 1
5			3 環境変化や他自治体等	等と比較して適正でない。	
-					
1]
理由	:斤(米 白 :		- い先進的な事業と認めら	カ ま す	
		ロからし、、私組の少な	*v ルルにいる 世未 C 応めり	100 70	
【1次評価結		Ente Anto			
事業の方向性	維持・統	継続			
	持続可能	とな循環型社会の構築に	バイオマスの資源化によ	る活用は欠かせないものと認識し	 ます。
			・ルギー化の観点と整合を		- · · ·
	/c/c 0#	5岁15、劝予15、目上1	ツァド 心の既然に歪って	口でが女儿のうみゞ。	
	1				
1次コメント	1				
(400文字)				
(´				
	1				
	1				
【 2 次評価結	果】				
事業の方向性	評価未				
尹未い刀円住			ウケーテいナサイ		
	本事業に	こおいては、2次評価を	:実施していません。		
	1				
	1				
2 次コメント	1				
	<u> </u>				
(400文字)				
	1				
	1				
	1				l l

11頁 令和 3年 8月17日 14時21分41秒

令和 2年度 評価年度 進捗区分 2次評価 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係 所属 最終処分場事業

所属長名 原田 浩至 担当者 杉浦 一美 電話番号 0566-76-3053

事務事業 【基本情報】

02756

【至午月刊】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	001 3環境				
施策の方針	004 資源循環とごみ	減量の推進			
事務事業	008 最終処分場事業				
事業期間	平成21年度 ~ 令和11年度	21 年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関	する法律、安城市原	産棄物の減量と適正処理に関す	する条例	
備考					

【事業分析】

【争業分析】	
対象	市民が
目的	排出した再利用・再資源化が困難なごみを埋立処分します。
手段	市内唯一の埋立最終処分場として、埋立量の極小化に留意しつつ、破砕した不燃残渣のみを埋立しています。
事務内容	リサイクルプラザから出る処分できない埋立ごみ(不燃残渣)の処分場です。

(単位:千円) 【コスト】

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	ルコスト	37,325	78,726	88,339
事	業費	31,655	73,056	81,739
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	31,655	73,056	81,739
人·	件費計	5,670	5,670	6,600
	正規(人)	0.90	0.90	1.00
その他	経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	搬入見込み量649t(容 量換算811㎡)の不燃 残さを埋立処分します 。	搬入見込み量605t(容量換算756㎡)の不燃 残さを埋立処分します。藤井の浸出水処理施設を撤去していきます。	搬入見込み量650t(容量換算812㎡)の不燃 残さを埋立処分します。

12頁 令和 3年 8月17日 14時21分41秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価 所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係

事務事業 02756 最終処分場事業

 【定量評価】
 上段:目標値 下段:実績値

 指標名
 単位
 平成31年度
 令和 2年度
 令和 3年度

 最終処分場埋立量
 t
 662.00 649.00
 660.00 605.00
 650.00 0.00

 日本
 <td

Ļ				
<u> </u>	<u> </u>	証価の知上	基準	=>./a
1	必要性	評価の観点 国・県・民間等との補 完性	*** 1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	7
	理由 必要性	市域を越えて最終処分場	を求めることは極めて困難です。 1 市民ニーズは充分にある	
2			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
	理由		一般家庭からの排出ごみによるものです。	
3	有効性 	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
		埋立量の抑制が図られて		
4	立 効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
		埋立処分場の新たな設置	は、困難なため、長期供用に配慮します。	
5	公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	ごみ処理に必要な最終処	分場を備えています。	
	1 次評価結果】	Lance		
1)	業の方向性 欠コメント 400文字)	維持・継続 新たな埋立処分場の設置	は困難な状況であるため、今後も埋立量を抑制し長期間の供用を進めます。	
	2次評価結果】	1		
2)	業の方向性 欠コメント 4 0 0 文字)	評価未実施 本事業においては、2次	評価を実施していません。	
	- V V AT)			

13 頁 令和 3年 8月17日 14時21分41秒

令和 2年度 評価年度 進捗区分 2次評価 所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係 事務事業

資源リサイクル事業

所属長名 原田 浩至 担当者 手塚 勝之 電話番号 0566-76-3053

【基本情報】

02757

【空中月刊】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	001 3環境				
施策の方針	004 資源循環とごみ	·減量の推進			
事務事業	009 資源リサイクル	 ·事業			
事業期間	平成14年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関	する法律、安城市原	発棄物の減量と適正処理に関	する条例	
備考					

【事業分析】

▲尹未刀忉◢	
対象	広く市民が
目的	ごみの再資源化に関心を持ち分別するようになります。
手段	市内4箇所のリサイクルステーションを設置し、運営をシルバー人材センターに業務委託を行い、市民の利便性 に配慮し、資源ごみの分別促進を図ります。
事務内容	ごみの再資源化を促進するために、リサイクルステーションの設置、運営を実施します。

(単位:千円) 【コスト】 亚成31年度 △和 2年度 ◇和 2年度

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	32,242	48,002	35,236
事業費	27,202	44,222	28,636
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	14,173	7,627	3,150
一般財源	13,029	36,595	25,486
人件費計	5,040	3,780	6,600
正規(人)	0.80	0.60	1.00
その他経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	リサイクルステーショ ン資源回収量2,852t、 古紙・古着資源ステー ション収集量1,056tを リサイクルします。	リサイクルステーション資源回収量2,901t、 古紙・古着資源ステーション収集量1,000tを リサイクルします。 和2年度はエらんど の舗装工事を計画して います。	リサイクルステーショ ン資源回収量2,756t、 古紙・古着資源ステー ション収集量1,000tを リサイクルします。

事務事業評価シート(2/2) *** (4頁 *** *** (2/2) *** (2/2

14 頁 14時21分41秒

令和 2年度 評価年度 進捗区分 2次評価 所属 0001282210 ごみゼロ推進課清掃事業所事業係

事務事業 02757 資源リサイクル事業

【定量評価】

【定量評価】	1777			上段:目標值 下段:実績値
指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
リサイクルステーショ ンの回収量 	t	2,828.00 2,852.00	2,700.00 2,901.00	2,756.00 0.00

定性評	<u> </u>	評価の観点	基準	ランク
必要性 1		国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
理由		市民主体の資源環境の取り		
必要! 2	生	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由			I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	
有効性	±	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由		コロナ下でステイホームの		
効率性 4	生	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由		利用促進のため利便性の周		
公平 ¹ 5	生	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由			┃ ┃ に取組んでいます。	
	価結果】		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
業の方 次コメ (400	ント	維持・継続 本市のこれまでの取り組み 即した環境施策です。	により、市民のリサイクルに対する意識が向上しています。本事業は市民の二	ーズに

【 4 从計劃約未】	
事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

1 頁 令和 3年 8月17日 14時23分39秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係

事務事業 02758 ごみ焼却施設管理事業 【基本情報】 所属長名原田 浩至担当者宮本 宗明電話番号0566-92-0178

_ 【					
計画次数	02 第 8 次安城	市総合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	001 3環境				
施策の方針	004 資源循環と	ごみ減量の推進			
事務事業	010 ごみ焼却施	设管理事業			
事業期間	平成 9年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃	こ関する法律			
備考					

【事業分析】 対象 市民が

目的 可燃ごみを安心して処理できるようにするため

手段 ごみ焼却施設の運転管理及び施設の保全と施設整備をします。また、適正な保守点検や計画的な工事を実施する ことで施設の健全性を維持します。

【コスト】 (単位:千円)

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	1,157,46	1,303,591	1,453,317
事業費	1,139,19	1,279,021	1,427,577
国庫支出	È	0	0
県支出金		0	0
地方債		0	0
その他	183,08	2 159,316	356,000
一般財源	956,11	1,119,705	1,071,577
人件費計	18,27	24,570	25,740
正規(人	2.9	3.90	3.90
			+
その他経費		0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	可燃ごみ51,842tを焼 却処理しました。	可燃ごみ50,006tを焼 却処理しました。	可燃ごみ51,451tを焼 却処理します。
【事務事業活動実績】			

14時23分39秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価

所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係

事務事業 02758 ごみ焼却施設管理事業

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
施設の故障による可燃 ごみ搬入停止		0.00	0.00	0.00
	凹	0.00	0.00	0.00
法規制値を超える排気 ガスの排出		0.00	0.00	0.00
リスの排出		0.00	0.00	0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
	 一般廃棄物処理は、市で行	Ⅰ Ⅰ ⁻ う事業として定められています。	
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
	ごみの焼却は、市民生活に	I	
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由	施設は故障もなく順調に稼		
効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	維持管理を委託し、整備計		
公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	近隣市と比較しても同水準	・ ・ ・ でオ	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	今後も適切な保守管理及び計画的な工事を実施することで、施設の処理能力や安全性を確保し、安定稼働に努め ます。
1 次コメント (400文字)	

【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント	
(400文字)	

3頁 令和 3年 8月17日 14時23分39秒

令和 2年度 評価年度 進捗区分 2次評価

所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係

事務事業 02759 ごみ焼却灰処分事業 所属長名 原田 浩至 担当者 宮本 宗明 電話番号 0566-92-0178

【基本情報】

1 三 5 半	00 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2	A1 =			
計画次数	02 第8次安城市総	台計画			
5 K の分類	002 環境				
項目(施策)	001 3 環境				
施策の方針	004 資源循環とごみ	減量の推進			
事務事業	011 ごみ焼却灰処分	事業			
事業期間	平成 9年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関	する法律			
	平成28年度の事務事業の	見直しにより、平成	29年度から以下の事業から	ら名称変更していま	
	・ごみ焼却灰溶融化事業				
 備考					
MH 5					

【重举分析】

【事業分析】	
対象	市が
目的	処分先の環境を阻害することなく、安定的に焼却灰を処理できるようにするため
手段	本市は、焼却灰の最終処分場を所有していないことから、発生した焼却灰全てを市外に運搬・処分しています。 処分先としましては、公益財団法人愛知臨海環境整備センター(アセック)や民間の最終処分事業者です。また 、焼却灰の一部については再資源化処理としています。
事務内容	処分場を所管している相手方自治体と調和の協議を行い、安全かつ適正に処理を実施します。

【コスト】 (単位:千円)

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	154,407	181,198	204,217
事業費	151,257	178,048	200,917
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	151,257	178,048	200,917
人件費計	3,150	3,150	3,300
正規(人)	0.50	0.50	0.50
その他経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	・アセック埋立量 4,826.48 t ・その他民間埋立量 400.02 t ・再資源化量 1,595.72 t	・アセック埋立量 3,871.29 t ・その他民間埋立量 398.42 t ・再資源化量 2,390.99 t	予定量 ・アセック埋立量 3,900 t ・その他民間埋立量 400 t ・再資源化量 2,400 t

4頁 令和 3年 8月17日 14時23分39秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価

所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係

事務事業 02759 ごみ焼却灰処分事業

【定量評価】 上段:目標值 下段:実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
焼却灰の処分先	箇所	3.00 3.00	5.00 5.00	5.00 0.00
歴刊なる姿质化変		3.00	3.00	0.00
焼却灰の資源化率	%	19.40	29.09	30.45
		23.39	35.90	0.00

【 定	【定性評価】					
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク		
	必要性 国	・県・民間等との補 性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない			
		性	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	1		
١,			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	Ť		
'						
	理由 焼	却後に発生する焼却な	は適正に処分する必要があります。			
	必要性 市	民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある			
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	1		
2			3 市民ニーズはない又は不明である			
_						
	理由 焼	却灰の処分場を持たな	い自治体の市民にとって必要な事業です。			
	有効性 目	標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である			
			2 目標を下回る進捗状況である	1		
3			3 進捗はかなり遅れている			
ľ						
_		正に灰処分を行い、!	サイクル率の向上に努めています。			
		業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている			
		削減	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	1		
4			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
-						
			ら他の処分先の検討を行っています。			
	公平性	業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。			
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	1		
5			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
1						
	理由 独	自の埋立処分場を持た	ない近隣市と同等の水準です。			

<u>埋由</u> 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	災害時のリスク分散を考えた場合や現在委託する処分先も有限施設であるため、今後も処分先を検討する必要があります。また、環境負荷低減のための再資源化についても引き続き検討していきます。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

5頁 令和 3年 8月17日 14時23分39秒

令和 2年度 評価年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係

し尿処理施設管理事業

所属長名 原田 浩至 担当者 丸毛 啓志 電話番号 0566-92-0178

事務事業
【基本情報】

02760

<u> </u>					
計画次数	02 第8次安城市総	画信合約			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	001 3 環境				
施策の方針	004 資源循環とごみ	∤減量の推進			
事務事業	012 し尿処理施設管	建事業			
事業期間	昭和63年度 ~				
実施方法	全部委託		·		
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関	する法律			
備考					

【事業分析】

【尹未刀忉】	
対象	市民が
目的	し尿汚泥、浄化槽汚泥を安心して処理できるようにするため
手段	し尿処理施設の運転管理及び施設の保全と施設整備をします。また、適正な保守点検や施設整備を実施すること で、施設の健全性を維持します。
事務内容	収集搬入された生し尿や浄化槽汚泥等を適正に処理できるよう、施設を維持管理・運営します。

【コス	ト 】			(単位:千円)
		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	ルコスト	106,483	109,017	113,934
事	業費	98,923	104,607	108,654
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	98,923	104,607	108,654
人1	件費計	7,560	4,410	5,280
	正規(人)	1.20	0.70	0.80
1				
その他	経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	生し尿1,960KL、浄化	生し尿1,525KL、浄化	生し尿1,441KL、浄化
	槽汚泥28,437KL、農業	槽汚泥29,462KL、農業	槽汚泥28,552KL、農業
	集落排水汚泥661KLを	集落排水汚泥736KLを	集落排水汚泥840KLを
	処理しました。	処理しました。	処理します。

事務事業評価シート(2/2) 🗼 🚓 3年 8月17日

6頁 14時23分39秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価

所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係

事務事業 02760 し尿処理施設管理事業

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
施設の故障によるし尿 ・浄化槽汚泥搬入停止	0	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
法条例規制値を超える 放流水の排出	E	0.00	0.00	0.00
が流水の揺出		0.00	0.00	0.00

【 <u>定性評価】</u> カテゴリ	評価の観点		ランク
	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	一般廃棄物処理は、市で		
	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	し尿処理は、市民生活に		
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由	施設は、故障もなく順調		
効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	維持管理を委託し、整備	 計画など随時見直しを図っています。	
	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	近隣市と比較しても同水	<u>-</u> 準です。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	今後も適切な保守点検や施設整備を実施することで、施設の処理能力や安全性を確保し、安定稼働に努めます。
1 次コメント	
(400文字)	

【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント	
(400文字)	

9頁 令和 3年 8月17日 14時23分39秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係

事務事業 03090 廃棄物処理施設整備事業

所属長名原田 浩至担当者丸毛 啓志電話番号0566-92-0178

_ 【					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	001 3 環境				
施策の方針	004 資源循環とごみ	減量の推進			
事務事業	025 廃棄物処理施設	整備事業			
事業期間	平成31年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
	平成31年度より事務事業	名を以下のとおり変	変更しています。		
	・(旧称)ごみ焼却施設等	整備事業 ・(改名	3)廃棄物処理施設整備事業		
┃ ┃ 備考					

【事業分析】

【争美为竹】	
対象	市民が
目的	将来的に安心して廃棄物を処理できるようにするため
手段	愛知県ごみ処理広域化計画及び衣浦東部ごみ処理広域化計画にもとづく施設整備を進めます。
事務内容	施設整備に必要な各種計画の策定及び施設整備を実施します。

【コスト】 (単位:千円)

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トーク	タルコスト	13,540	25,300	67,683
事	業費	9,130	18,370	61,083
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	9,130	18,370	61,083
人	、件費計	4,410	6,930	6,600
	正規(人)	0.70	1.10	1.00
その化	也経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	ごみ焼却施設等整備事 業より事務事業を引き 継ぎ、安城市廃棄物処 理施設整備基本構想の 策定に着手しました。	安城市廃棄物処理施設 整備基本構想を策定し ました。	廃棄物処理各施設の整 備計画の策定や一般廃 棄物処理基本計画等の 策定に着手しました。

10頁 令和 3年 8月17日 14時23分39秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価

所属 0001282410 ごみゼロ推進課環境クリーンセンター施設係

事務事業 03090 廃棄物処理施設整備事業

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
安城市廃棄物処理施設 整備基本構想の策定 (進捗率)	%	33.20 33.20	66.80 66.80	0.00 0.00
各施設整備計画等の策 定(進捗率)	%	0.00 0.00	0.00 0.00	74.42 0.00

【定性評価】			
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性 1	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
	廃掃法で廃棄物処理施設は		
	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
	市民生活において廃棄物処	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由	計画的に事業を進めていま	す 。	
効率性 4	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	業務を委託し、効率を図っ	ています。	
公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	他自治体を参考に適切な時	・ 期に施設整備を行っていきます。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	廃棄物処理施設の老朽化に伴い、将来の施設整備に向けた具体的な検討や整理が必要であるため、各処理施設の 整備計画の策定を進めます。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	